

Cologne IW 派遣日記



派遣先：ケルン

国名： ドイツ

都市名： ケルン

派遣期間：

2016 年 11 月 4 日 ~ 11 月 13 日

経済学部 経済学科 3年 氏名 酒井 大輔

11 月 4 日 金 曜日 天気 (雨)

*タイムテーブル

18:00 ~ 23:00 Welcome Event

23:00 ~ 2:00 Night out



*感想 (具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど)

前日にケルンに到着していた参加者と歓迎会前に合流してケルン市内を観光しました。

11 月 5 日 土 曜日 天気 (曇)

*タイムテーブル

11:30 ~ 13:00 Lunch

13:00 ~ コテージへバスで移動 (4時間弱)

17:00 ~ カーニバル衣装作り、夕食作り

23:00 ~ International Drink



*感想 (具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど)

昼食を済ませて、オーガナイザーのオフィスから大量のビールとレッドブルを皆で手分けしてバスに運んだ後に、バスでケルン郊外にあるコテージに移動しました。バスの中から見える風景も、郊外に出るにつれて絵葉書に出てくるような街並みになり、コテージに着く頃には、ほぼ森でした笑。コテージは自然で囲まれた離れ屋で Wifi もない場所でしたが、その分皆で工夫して楽しみました。

まず、後日参加するカーニバルで着るためのコスチュームを前もって買って
おいたシャツに絵の具でペイントしました。自分は漢字を書き入れたので他の
参加者の関心を引きました。ペイントの後は、参加者各自が用意してきた食材を使
っての夕食作りをしました。一つのキッチンを皆でシェアして作ったので各々
の国の料理に興味を持ちながら、私は、日本料理として『お好み焼き』を作りま
した。12枚分のお好み焼きを一度に作るため材料の配分や日本人参加者他2人
との作業の協力が大変でした。スウェーデンのサーモンをペーストに付けてパ
ンで挟んで食べる料理が個人的にお気に入り、たくさん食べてしまいました。
食事後には、場所を移して参加者が持ち寄ったお酒を紹介しながら、各国の『乾
杯』コールでお酒を楽しみました、ほとんどの国の参加者が強いアルコール度数
のお酒を持ち寄っていたので終盤かなり酔いました笑。日本から持ち寄った梅
酒は、他の参加者からも好評で、日本食だけでなくお酒も海を越えて受け入れら
れているのだなと感動しました。

11月6日 日曜日 天気（曇）

*タイムテーブル

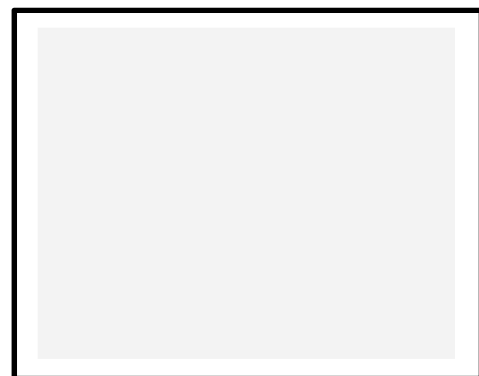
8:00 朝食

9:00～ ミニゲーム

12:00～13:00 ケルンカーニバルのガイダンス

13:00～ 宝探しゲーム

20:00～ 夕食バーベキュー



*感想（具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど）

前日は明け方近くまで、起きて騒いでいた参加者もいたらしく、朝食を食べに起
きてきた人も半分程度でした。この日は、1日中コテージに滞在し、オーガナイ
ザーが主催する企画を楽しみました。特に宝探しゲームは、オーガナイザーが事
前にコテージ内や屋外の木や物陰に隠した番号と単語を一致させるもので、三
チームに分かれて協力して探し、見つけるとドイツ語の歌を歌ったりやワイン
を飲むミッションをチームに与えられて、チームでまた協力して達成するもの
でした。ゲームを通してかなりチームの仲が深まりました。夕食はオーガナイ
ザーがとても寒い屋外で焼いてくれた BBQ を温かい屋内で美味しくいただきました
笑。

11 月 7 日 曜日 天気 (雪)

*タイムテーブル

8:00~コテージ出発

9:00~18:00 Rhein ツアー

18:00~21:00 ホストと夕食

21:00~ WG Gelage (宅飲み)



*感想 (具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど)

前日遅くまで騒いでいたのにもか関わらず、この日は 7 時には起床しました。
外に出るとなんと雪が降りだし、皆で写真を撮って楽しみました。ライン川のほとりにある古いお城見学では、古き良きヨーロッパ中世の雰囲気を楽しみました。
場内にあるブドウを参加者でもぎ取って食べました。ワインの生産地として有名で、バスから眺める黄緑色の葉が生い茂るブドウ畑の景色は最高でした。その後、市内のワイン工場に移動して、ワインテイastingを行いました、オーナーの方が次々とワインをふるまってくれたので顔が赤くなってしまいました。
笑 なかには一本 2 万円相当のワインも試飲させてくれました。日本ではワインをあまり飲まないですが、それでも味の違いが分かるくらい美味しくて様々な種類がありました。

11 月 8 日 曜日 天気 (曇)

*タイムテーブル

7:30~8:30 大学訪問

8:30~12:00 宝探しゲーム

12:00~13:00 昼食

13:00~15:00 香水作り体験

20:00~0:00 Pub Crawl

0:00~2:00 Night Out@Flora



*感想 (具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど)

この日は、ケルン大学で大学の教育システムについての説明を受けた後、オーデコロン発祥のお店である『4711』で香水づくり体験をしました。いかにもお金持ちでプライドの高そうな案内人の下で、20 種類以上のフレグランスの成分から自分の好みの香りをチョイスしてオリジナルの香水を作ることができ、特に女

子は真剣に取り組んでいました。夜はPubCrawlを行い、その勢いでクラブも盛り上がりました。浴びるようにショットを飲んだので、気温が0℃近くの屋外も半袖でいました笑。

11 月 9 日 曜日 天気 (曇)

*タイムテーブル

11:00~13:00 昼食

13:00~15:00 コンサルティング・ケーススタディ

16:00~18:00 Room Escape

*感想 (具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど)

前日のPubCrawlで参加者はかなりお酒を飲んでいたので、この日は休養日のようなものでした。昼食後にオーガナイザーのオフィスでコンサルティングのケーススタディを行い、5人一組のチームである企業についてのレポートを読み、意見を出し合って改善策を発表しあうとても刺激的なものでした。

11 月 10 日 曜日 天気 (曇)

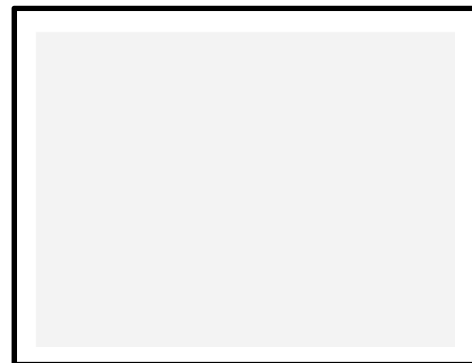
*タイムテーブル

8:00~11:00 企業訪問@Köln Airport

11:00~17:30 Bonn 観光

18:45~21:00 夕食

21:00~23:00 Kegeln de Otto



*感想 (具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど)

企業訪問として、地元の空港内及び滑走路エリアの見学に参加しました。専用バスに乗り込みターミナル内をガイド付きで巡りました。飛行機の離陸はやり直しができないこと、飛行機の遅れによる駐機所での待機時間の延長が莫大なペナルティ費用の対象となり、そのため作業員はとても集中していること等と飛行機好きの自分にはたまらない時間でした。その後 Bonn というケルン郊外の都市に行き、街並みの観光と Bonn が発祥の地である『HARIBO』の専売ショップで買い物をしました。HRIBO は日本で買うと高いので、4キログラムを 2500 円ほどで大人買いしてしまいました。

11 月 11 日 曜日 天気 (曇)

*タイムテーブル

9:00~22:00 ケルンカーニバル



*感想 (具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど)

メインイベントであるケルンカーニバルの日です！この日は、町中がお祭り一色であり、車道も思い思いの衣装を来た人たちで埋め尽くされました。渋谷のハロウィンの比ではない人とビールと音楽で町がカーニバルに酔いしれる一日でした。朝から、皆でオフィスに集まってビールを飲みながら音楽を流して踊ったり話して盛り上がりました。連日のハードスケジュールの中で、朝からかなりお酒を入れてしまい体調を崩してしまったので、昼過ぎに一回ホストの部屋に戻りました。帰宅する道中、朝来た道なのかと疑いたくなるほど信じられない人の数とビール瓶やらゴミやらで通りは埋め尽くされていて、普段なら5分で移動できる距離を15分以上かけて人込みをかき分けて移動しました。夕方には皆と合流しました。自分の想像に反して、他の参加者はクラブが満員で入場できなかつたり、人込みの中で押されてケガをしまつたり、単純に午前中はしゃぎ過ぎて疲れ切ってしまった様子で、自分は一度休んどいてよかったと開き直れました。笑とにかく夜遅くまで、街はお祭り騒ぎでカオスでした。カーニバルの本番は2月に1週間あるらしく、本番はどんなものなのかと想像するだけでワクワクと震えがおきました。

11 月 12 日 曜日 天気 (晴)

*タイムテーブル

8:45~12:00 バブルサッカー

18:00~23:00 Farewell Party

23:00~0:00 クラブ



*感想 (具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど)

毎日がとても濃い日々も今日が最終日。午前中は、市内のスポーツセンターに移動してバブルサッカーを行いました。さすが、サッカー強豪国ドイツ。バブルサッカー場も本格的で、カーニバル翌日で市内は閑散としていましたが、ここは熱気がありました。大きなボールに体をすっぽり埋めてサッカーをするもので、見た目以上にエネルギーを使い、すぐにリタイヤしている人もいましたが存分に楽しめました。FarewellParty 前に時間があつたので、近くのショッピングモールに出かけました。クリスマスに向けてたくさんのグッズや照明が売られていて活気があるのには流石ヨーロッパだなと思いました。ドイツの衛生用品会社である Frosch のお店が普通にあって、ワクワクしました。FarewellParty では皆、ドレスコードでオシャレなパーティーでした。写真を撮り合ったり、アフタームービーを見ながら寄せ書きを書きあつたりととても参加者同士の結びつきを感じられる時間でした。IW を通して、言語は違えどユーモアと思いやりは万国共通で分かち合えるのだなと強く感じました。帰国してからの話すための英語学習にも熱か入りました。このような経験をさせてもらったことに感謝しながら、この日記がこれから IW に参加される方の参考になれば幸いです。